

『英EU離脱や米トランプ政権発足がIFRSに与える影響』

IFRSの設定主体であるIASBの本部は英国にあります。また、IFRSはEU加盟国で広く採用されています。英国のEU離脱は、IFRSの今後に影響を与える可能性があります。一方、米国では自国企業にIFRS適用を認めるかや、米国会計基準にIFRSを組み込むかについて議論が続いています。自国優先主義を掲げるトランプ政権の発足が議論の行方に影響を与えそうです。国際会計士連盟会長などを歴任された藤沼亜起先生に想像しうる今後の動きについて講演いただきます。後半では、国際会計を専門とする徳賀芳弘先生を交えたQ&Aセッションにより、さらに理解を深めます。

京都大学会計人会 会長 谷口隆義

講演会内容

- 藤沼亜起氏による講演
- 徳賀芳弘氏を交えたQ&Aセッション



講師 Profile

藤沼 亜起 氏 ふじぬま つぐおき

公認会計士。中央大学ビジネススクールフェロー。日本公認会計士協会相談役。公益財団法人財務会計基準機構評議員。セブン&アイホールディングス(株)などの社外役員。太田昭和監査法人(現 新日本有限責任監査法人)代表社員、国際会計士連盟会長、IFRS財団Trustees評議会副議長、日本公認会計士協会会長などを歴任。1944年生まれ。

Q&Aセッション 講師 Profile

徳賀 芳弘 氏 とくが よしひろ

京都大学副学長・経営管理大学院教授。企業会計基準委員会委員。金融庁 公認会計士・監査審査会委員。日本会計研究学会評議員。京都大学会計人会顧問。財務会計、国際会計、企業分析を専門とする。著書に『京都企業 一歴史と空間の産物一』、『国際会計論』など。1955年生まれ。博士(経済学・京都大学)。



2017年 **7月29日(土)** 14:00~16:00

会場：京都大学 百周年時計台記念館国際交流ホール3 参加費：**無料**

参加対象者：公認会計士・税理士・研究者・経理事務者・学生・その他テーマに関心がある専門職

※公認会計士の方は、『有志主催研修会』としてCPE単位認定を受けることができます。

お申込み締切：7月27日(木) (先着順：定員100名になり次第締め切り)

FAX:06-6397-3003

下記にご記入の上、FAXもしくはメールをお送りください

Email:taniguchi-office03@apricot.ocn.ne.jp

お名前	会社名・ご職業
TEL	Email

主催：京都大学会計人会
後援：京都大学

お問合せ先：京都大学会計人会事務局(公認会計士谷口隆義事務所内)

TEL:06-6397-3000 Email:taniguchi-office03@apricot.ocn.ne.jp

ホームページ:http://kyodai-kaikeijinkai.com